

海のお掃除船「美讃」一般公開！

国土交通省四国地方整備局に配備されている海面清掃兼油回収船「美讃」の一般公開を7月15日に高松港内にて行いますのでお知らせ致します。

1. 「美讃（びさん）」一般公開について

- (1) 日時 令和元年7月15日（月） 10時00分～15時30分
※当日の気象・海象状況により中止・時間変更する場合があります。
- (2) 場所 高松市サンポート高松（高松港内：詳細は別紙参照）
- (3) 公開内容 「美讃」（停泊中）船内の公開、海洋環境事業の紹介パネル展示、清掃船の説明及び海ゴミの回収状況等の説明、港に関するクイズ、船員服による親子撮影会等を公開期間中随時行います。
- (4) その他 事前申し込み等不要です。当日、公開会場に直接お越し下さい。ハイヒールやサンダル履などの乗船は危険ですので、動きやすい運動靴でお越し下さい。



航行中の海面清掃兼油回収船「美讃」

問い合わせ先 四国地方整備局 高松港湾・空港整備事務所
副所長 新見 [Tel:087-851-5524](tel:087-851-5524)
主務) 坂出港分室 [Tel:0877-46-0311](tel:0877-46-0311)
海洋環境・防災課：野村、真鍋

(別紙)

高松港湾・空港整備事務所 坂出港分室
海洋環境・防災課 宛

F A X : 0 8 7 7 - 4 5 - 4 6 8 9

7 / 1 5 (月) 美讃一般公開の取材申込書

貴社名		
連絡先	TEL:	FAX:
代表者名		
連絡事項等		

※ 7月12日(金) 12時までにFAX送信をお願いします。

海面清掃兼油回収船「美讃」の概要について

国土交通省四国地方整備局に配備されている海洋環境整備船「美讃」は、漂流するゴミや油の回収作業を日々実施し、美しい瀬戸内海の環境や航行船舶の安全を守っています。

■美讃の概要

「美讃」は船体中央にコンテナ式のゴミ回収装置を設けているほか、流木等を積み込む多関節クレーンを装備し、大小さまざまなゴミの回収ができるように設計されています。

また船体後部に設けられた油回収装置により流出した油の回収を敏速に行うことができます。

さらに、水質調査を行い、海の環境を継続的に確認することができます。

◆ゴミ回収

海面に浮遊するゴミは、「美讃」が潮目に漂っているゴミに向かって進むことで、双胴船の中央部の回収コンテナに回収されます。

また、流木などの大きなゴミは船体の左右に設置した多関節クレーンで回収します。

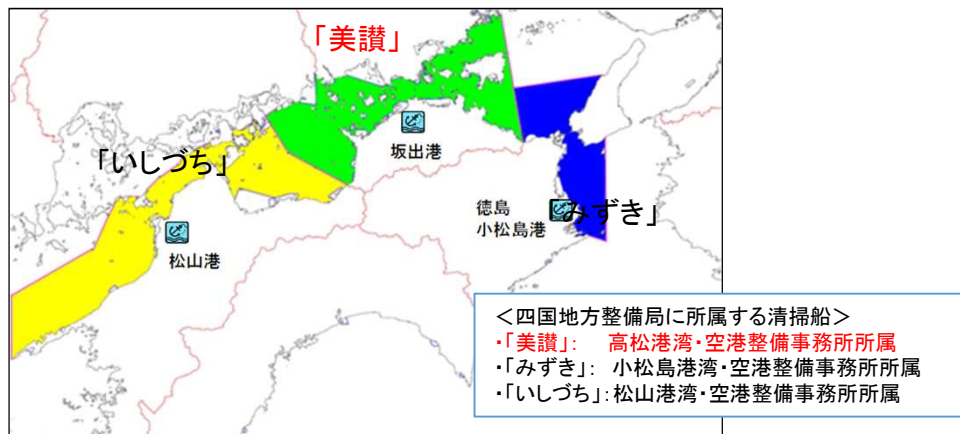
◆油回収

海難事故や過失による油流出などによって海面に漂う油を回収します。

油回収装置で油水を分離し、低粘度(軽油)から高粘度(重油)までのあらゆる状態の油に対処することができます。

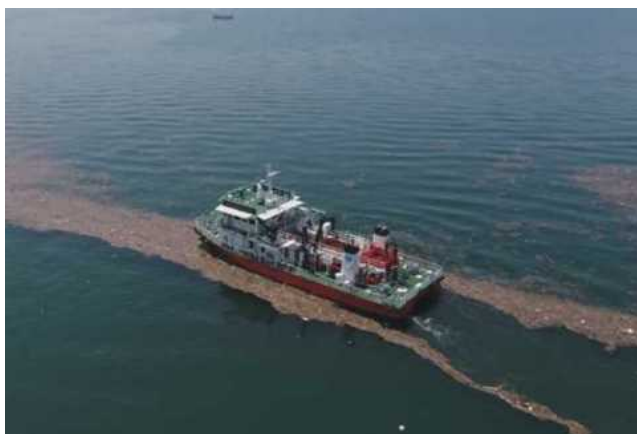
■担務海域

備讃瀬戸全域及び備後灘、燧灘、播磨灘の一部海域 (2,500km²)



■平成30年7月豪雨に伴う海面浮遊ゴミの回収

平成30年7月豪雨により瀬戸内海に大量の漂流物が流出し、豪雨後の1ヶ月間で880m³(10tダンプで約147台分・平年の約3倍)の漂流物を回収しました。



瀬戸内海の漂流物を回収する「美讃」



漂流物を回収した「美讃」の回収コンテナ

■「美讃」一般公開会場案内図



■過去の一般公開 開催状況

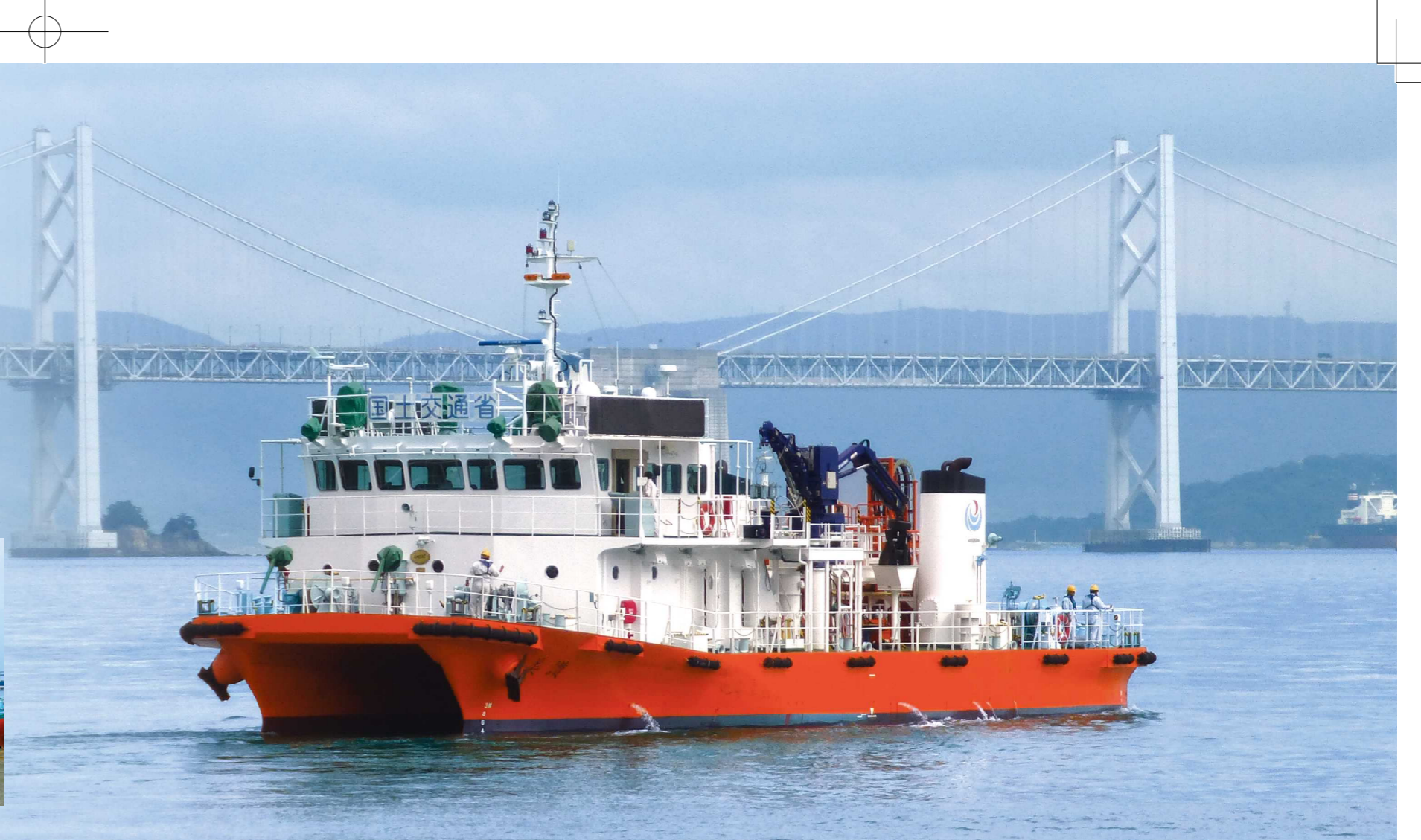


「美讚」は、より一層の航行安全の確保と環境整備に努めます。

「美讚」は航行スピードの向上やゴミ回収コンテナの大容量化により、より効率的に海面浮遊ゴミの回収や油回収が可能となりました。また、水質調査などの海洋環境調査に必要な設備を搭載する等、今後、様々な場面での活躍が期待されています。

■ 美讚 DATA

船種	海面清掃兼油回収船	最大速度	約14ノット
船型	双胴型	航行区域	沿海
全長	33.50m	機関出力	736kw(1000PS)×2基
全幅	11.60m	推進器	4翼可変ピッチプロペラ×2基
深さ(型)	4.20m	回収油タンク	41.3m ³ (20.65m ³ ×2基)
最大喫水	2.64m	ゴミ回収コンテナ	50m ³ (12.5m ³ ×4個)
総トン数	196トン	竣工	平成23年12月



潮目に浮遊するゴミ



流出油の状況



大量流木



流木の回収状況

海面清掃兼油回収船「美讚」の概要

- 従来船より現場に迅速に到着できる(機動性向上)
- 従来船よりゴミ回収コンテナ容量をアップ
- ゴミ圧縮グラブによりゴミの積載量をアップ
- 海上流出油を回収する油分濃縮型の浮遊堰式油回収機
- 操舵室での航海・機関・監視カメラ情報の一元監視
- 水質調査を行うための水質調査機器の装備

ゴミ回収

海面に浮遊するゴミは、「美讚」が潮目に漂っているゴミに向かって進むことで、双胴船の中央部のゴミ回収コンテナに回収されます。また、流木などの大きなゴミは船体の左右に設置した多関節クレーンで回収します。

油回収

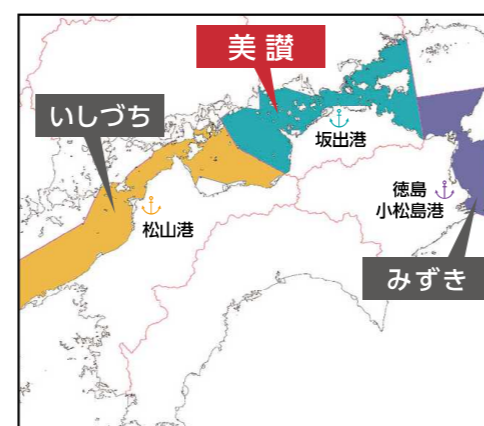
海難事故や過失による油流出などによって海面に漂う油を回収します。油回収装置で油水を分離し、低粘度(軽油)から高粘度(重油)までのあらゆる状態の油に対処することができます。

担務海域

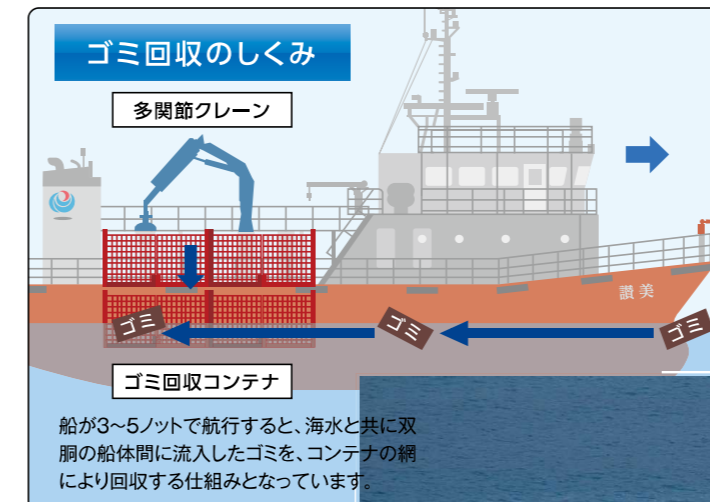
備讃瀬戸全域及び備後灘、燧灘、播磨灘の一部海域

浮遊ゴミ回収実績(坂出港)

昭和49年度から平成29年度までの総回収量は、42,266m³(10tダンプで7,044台分)年間平均回収量は、1,003m³(10tダンプで167台分)※6m³/1台(10tダンプ)
※回収実績は「わしゅう」等の実績



四国管内の担務海域



浮遊堰式油回収装置

海面浮遊油及び油流出事故の際に流出油を回収。油水分離能力を高め、濃縮した油水(油分が多い)を回収することで、より効率的な油回収が行えます。



ゴミ回収コンテナ

船体中央部の双胴間にコンテナ式回収装置を装備。海中にコンテナを下ろしてゴミを回収します。コンテナ昇降は、油圧シリンダによるワイヤーロープ方式を採用しています。



操舵室

視界確保の観点からオールラウンドビュー(全面窓)とし、前方の窓から船首側が良く見えるよう窓の幅、高さについても詳細な検討を行い、視界確保を図っています。



可変ピッチプロペラ

機関保護、ゴミ・油回収時の微速航行等のため、可変ピッチプロペラ(CPP)を採用しています。



機関室

環境面においてNOx低減を図るために、4サイクル高速ディーゼル機関を採用。振動低減を図るため、防振マウントを装備。さらに機関の情報監視については、操舵室での遠隔監視を可能としています。



放水銃

放水銃は、ゴミ詰まり解消の他、高粘度浮遊油の粉碎や浮遊油を油吸引口へ集積させることにも活用できます。



水質測定用ダビット

定期的な瀬戸内海総合水質調査を行うため、航海船橋甲板の左舷後部に水質測定用ダビットを装備。自動的に水質測定及び採水を行います。



多関節クレーン

竹・流木等の長尺物や粗大ゴミは、両舷に装備した多関節クレーンで処理。左舷多関節クレーンのグラブには、新たに技術開発を行った「ゴミ圧縮グラブ」を装備し、一航海あたりの回収能力向上を図っています。